

その他の土木工事業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14~15	トレーラー上で、シートパイルを積み込んでいる時に、三段目に積んだ時ベタ角がずれてシートパイルがずれて倒れて来たので慌てて飛び降りた時、敷鉄板が有り、足、かかとを強打して腰も負傷した。	46	—
2	16~17	自社の積み場にてトラックに敷石を積もうとしたところ腰に痛みがはしった。	47	1~9
3	17~18	倉庫内において、積み上げてあった袋詰になっているロックウール材料（耐火被覆工事に使用）の袋（90cm×60cm×20cm・重さ20kg）を整理整頓中、一部袋が破れていた為、作業中に中身がこぼれ、目の中に入り負傷した。	69	10~29
5	15~16	道路誘導標の移設工事現場で、地中から掘り起こし置いておいてコンクリートの基礎をダンプに積み込む為、バックホーにワイヤーを掛け4点吊りをする際、一旦地面から基礎を少し吊り上げて、その下に台を置こうとした際に基礎が斜めになり、作業員の右手と右太ももに落下した。後方には基礎が立っており逃げ切れなかった。	79	1~9
6	7~8	倉庫作業中、棚（アルミ）の下回り足元の周りにガラ袋等があり、材料片付けをしていて足元が滑りって転倒しそうになり、物に掴まろうとしたところ、棚にあった消火器の箱に手首をぶつけて骨折した。しばらくの間、怪我をした事を会社に言わず黙って仕事を休んでいて、社長に連絡が入ったのは2ヶ月後であった。	16	1~9
6	16~17	資材置場において、4tトラックの荷台ドアを外し、外したドアをユンボで吊り、トラックの荷台に載せていた際に、吊り下げていたドアと荷台の間に右手中指を挟み負傷した。	34	1~9

9	11～ 12	現場内において、一輪車で荷物を運搬していたところ、足場が悪く、また予想以上に重量があったことから、無理な荷重がかかり、右ひざを負傷した。	51	50 ～ 99
10	14～ 15	排水工事現場にて、疎水材の入ったフレコンバッグ800kgの排水口のヒモを外す作業をしていた所、バックホーにて吊っていた袋のヒモが切れ、落下したフレコンバッグの下敷きになった。	73	10 ～ 29
11	14～ 15	置場内にてコンテナ内のフレコン整理中、作業が一段落したため、コンテナ何から下りる際、2m程の高さから足を踏み外し落下した。その際、コンテナに立て掛けてあった足場材にぶつかり陰部を強打した。	19	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html